

## 第3回 諏訪湖の環境改善に係る専門家による検討の場 論点

### 1 貧酸素対策について

- ・将来的に貧酸素対策をどのように講じていくのか。
  - 場所（ヒシ大量繁茂の沿岸域、湖心）、優先順位
  - 貧酸素対策の方法（短期的・長期的）

#### 【第2回検討の場での意見】

今後行っていくべき貧酸素対策

- モニタリング調査の充実、調査体制の強化
- 短期的（応急的対策）：湖内に逃げ込める場所の確保⇒ヒシ種子除去場所の拡大
- その他の長期的・短期的対策：（シミュレーションによる貧酸素対策の効果を検証中）

- ・水質浄化を進めるうえで、湖内滞留日数、河川からの流入水量、湖内の水の動きがどのようになっているか把握が必要

### 2 水生植物の適正管理について

- ・諏訪湖で目指すべき（望ましい）水草はどのような状況か（何年頃の状況を目指すのか、どうあるべきか、保護・回復させる水生植物 など）
- ・上記を目指した植生の管理について、水質や生態系保全を勘案したうえで、その手法やスケジュールをどのように行っていけばよいのか。

#### 【第2回検討の場での意見】

ヒシの刈取り量

現状より増やす必要があるとの意見 → 県関係機関で構成する戦略チーム会議で検討

ヒシの刈取り以外の抑制方法

流入河川に繁茂するヒシの除去、水生植物の管理

### 3 生態系について

シジミの採れる諏訪湖

- ・今後、「シジミの採れる諏訪湖」を目指すうえで必要と考えられる環境は。その環境を作るために必要な取組は。

#### 【第2回検討の場での意見】

ターゲットとするシジミの種類

当面はヤマトシジミで実験を行い、将来的には淡水性のシジミが再生できる環境の整備を目指す

### 4 非特定汚染源対策について

- ・汚濁負荷の8～9割を占める非特定汚染源対策を進めていく有効的な方法は。